



2024年
10月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 林 和 広

印刷所
文明堂印刷所

待てば海路の日和あり

司祭 ポール・トルハースト

英語にも「待てば海路の日和あり」と似たことわざ『Good things come to those who wait』があります。ようするに時間をかけて辛抱した方が、より良いもの、素敵なものが手に入るという意味です。

なぜこんな話をするかと言いますと、MtS神戸では、最近新車を手に入れたばかりだからです。

私たちの活動にとって、訪船で港湾エリアに出かけた時、機会があれば船員たちを休息や買い物など、自由時間を楽しめるよう移動させる手段として、車はなくてはなら

ないものです。

ところがこの新車、注文から納車まで実に1年近くもかかってしまったのです。「待つ」という行為は、忍耐について学ぶ良いきっかけを与えてくれると思います。しかし現代社会では「待つ」あるいは「待たされる」とは負の要素でしかありません。

物事はすべからず速やかに行われるべきであり、何事も「今」結果や答えが出る状況が望ましいとされているからです。

たとえばSNSやメール



など即座にやりとりできる手段を手に入れたため、届くまで時間がかかる「手紙」は使わなくなりました。

買い物だってネットや通販なら、余分にお金を払えばより早く商品を受け取ることができ、行列に並んでイラつく

必要ありません。こんな世界で暮らす私たち「忍耐力」なんぞが身につくはずありません。

ところが、聖書において忍耐は美德であり、「霊の結び実」という大切な要素です。たとえそれが反慣習的で、言うは易く行うは難しでも、到達を目指すべきものなのです。

「信仰が試され忍耐が生じる時こそ成長のチャンスがあることを、あなたがたは知っています。だから、忍耐なさい。そうすれば完全な者になります。」(ヤコブ1:3-4)

この福音では、忍耐は神との歩みにおいて信仰の成長を促す重要な側面であると説きます。

「他人と接するときには思いやり、親切、謙遜、柔和、忍耐を身にまといなさい。」(コロサイの信徒への手紙3:12-13)

神が私たちに望まれる忍耐とは寛容につながるものであり、他者を受け入れるために必要な心のポケットなのです。

忍耐は霊的生活と他者との関係において重要な部分であり、忍耐を培うことによって神に近づき、他者に対してより多くの神の愛を反映させることができることと聖書は教えています。

もちろん簡単にできることではありません。それでいいのです。

「待てば海路の日和あり」
—神はいつも傍らにおられ、待つことを学びながら良くなるように努力するあなたを助け、支え続けてくださるのですから。

(神戸MtSチャプレン)

広島・長崎 平和礼拝

アンジェラ 脇坂 直美

〔広島平和礼拝 2024〕

8月5日(月)～8月6日(火)に開催され、月下美孝さんによる被爆証言、カトリック教会との「平和のための祈りの集い」、広島原爆逝去者記念聖餐式等が行われました。

「か？」など、考える時が与えられました。争いは些細なことから始まるため、小さな変化に気づく眼を持つことが大切であり、自分さえ良ければではなく人の心に思いを寄せることが平和につながることを改めて思いました。

月下さんは腹話術を用いて原爆の怖さを語られ、広島被害状況を詳しく伝えるとともに原爆を知らない私達に「平和とは何か?」「争いが起こらないために何が必要

キリスト教関係学校の生徒さんもたくさん参加され、ヒロシマのことを学んでいたことに感謝します。これからも平和を考え祈るために広島を訪れ知ってほしいと思います。



〔被爆79年 長崎原爆記念礼拝〕

8月9日(金)に長崎原爆記念聖餐式、森内實さんによる被爆証言が行われました。

長崎聖三一教会で行われた長崎原爆記念礼拝では、長崎に原爆が投下された11時2分を以て窓が開けられ、外の様子を感じながら黙祷をささげました。79年前の8月9日はきつとこんな静かな普通の夏の一日だったのだろうなあと祈っていると外から鐘の音がして、広島8月6日8時15分と重なりました。そして武藤主教様の説教をお聴きして、争いの原因となる「恐



れや不安」から逃れるためには「祈り」が必要であること、日々の生活の中に平和を積極的に取り入れることが大切であることを改めて思いました。

被爆証言をして下さった森内さんから、当日の状況、それからのことなどを聴かせていただきました。当時8歳だった森内さんは、木に登って蟬取りをしていた時に原爆投下を見ただけで、近くではなかつたため直接被爆は免れたそうです。その後放射能汚染の水や食物を摂取したことにより内臓被曝と思われる症状が出て、とても苦しい思いをされたそうです。また、自宅に身を寄せてくる親戚の恐



ろしい状況を見て、とても怖くて家に入らず物置に隠れていたと話されました。何が起ったのかもわからず、元気がなくなった人たちが毎日苦しんで亡くなっていく姿を8歳の子供がどんなに辛い思いで過ごされたのだろうか、胸が締め付けられる思いでした。

私は子供の頃、広島原爆資料館に連れて行かれてとても怖かったことを思い出しました。それが本場の原爆なのだと思います。そしてその思いを忘れないように、戦争を知らない私達が二度と戦争が起こらないように平和を祈り実践し、伝え、引き継ぐことが「平和の世界」を築く小さな一歩になると思うのです。

猛暑の中、勇気を出して参加した長崎原爆記念礼拝はとても貴重な時間でした。長崎及び広島に投下された原爆の影響で亡くなられた方の魂の平安と、今もなお苦しみの中にある方々のために祈り続けたいと思います。

(広島復活教会信徒)

中高生大会を通して

ヤコブ 塔田 暁至

2024年8月13日(火) 15日(木)、倉敷市自然の家を会場に第60回中高生大会が開催されました。今大会は、「協思団結」というテーマのもと、準備を行ってきました。僕は大会長を務め、他の3人の役員とともに、1年間毎月ミーティングを行い、準備を進めてきました。



神戸教区中高生大会

今大会を通して一番感じたことは「繋がり」です。今大会は、九州・沖縄教区からの参加もあり、参加者が多く集まった大会となりました。また初参加者が多いということもあり、顔を知らない人がとても多く、また僕自身もとても緊張していましたが、とにかく色々な人と話をするということを大切にしました。そのことによって、今大会を通して、「繋がり」をとっても感じたのでした。

しかし中高生大会は、中高生の役員だけではできないことが多くあります。キャンプサーバー(CS)や教役者の皆様がたくさん助けてくださり、また今大会に参加してくださった一人ひとりのおかげで、第60回大会を楽しく終えることができましたことを感謝します。またいつも見守って

いてくださった神様にも感謝します。

次の大会長も決定しました。また次の大会の役員も参加した中高生の中から10人以上立候補してくれました。来年も、「繋がり」を大切にしたい中高生大会になり、これからもこの中高生大会が継承されていくことを願っています。

(米子聖ニコラス教会信徒)

「奥能登で見たこと」 感じたこと

谷口 友介

8月18日よりの4日間、能登半島を訪れました。金沢から能登半島へと延びる「のと里山海道」では新しく舗装されたピカピカのアスファルトの脇に崩落や土石流で打ち捨てられた旧道が横たわっている光景が至るところで見受けられ、地震による被害と今日まで道路の復旧にあたった方々の尽力がいかに大きなものであるかを感じました。

19日・20日には珠洲市の山



間にある金沢聖ヨハネ教会の信徒さんの自宅を訪れて地震によってズレた焼き窯の煙突を崩す作業と、その他生活再建のためのお手伝いにあたりました。はじめは煙突を成すレンガをひとつひとつハンマーで抜いていたのですが、いくらか軽くなったところで「引っ張って倒せるのではないか」という話になりロープ

こしていて、通りかかると車体が大きく揺れます。建物が密に立ち並ぶ市街でさえもそこかしこに根本から崩れてペちゃんこになった家屋が取り残されている様子からは、いわゆる公費解体には多くの困難が伴い年単位の時間が必要なのことが伺えます。珠洲市にある鵜飼漁港近くの住宅地の光景は、液状化で大きく突き出したマンホールが点々と連なる街路と、その両脇に崩れた家屋と津波で流れ着いたゴミが積み重なる有り様は言葉では言い尽くせないほど凄惨なものでした。輪島の倒壊した教会の表に張り出された礼拝案内は12月31日で日付が止まっていました。裏手に黒い小さなプレハブの礼拝堂が作られていましたが、今日もお礼拝に参加できない方が大勢いらつしやるであろうことを思うと胸が痛みます。震災に伴う困難が今なお続いていることに心を向けて祈り、どのような支援が出来るか探し求めていきたいものです。

(米子聖ニコラス教会信徒)

鳩だより
《敬称略》

祝 洗 礼

8月15日(木)
シャロロット 山口 舞
神戸聖ミカエル教会

祝 聖 婚

7月15日(月)
ル ツ 星野 洋人
神戸聖ミカエル教会

ご 逝 去

8月4日(日)
ドルカス 遠部 和美
福山諸聖徒教会

8月5日(月)

白杉 洋子
神戸聖ミカエル教会

8月20日(火)

マリヤ 川島 賀代子
松江基督教会

8月27日(火)

マリ 近森 三千代
高知聖パウロ教会

日付不明
プリスキラ 長 喜代子

呉信愛教会

神戸教区 宣教委員会主催
宣教推進講演会
【わたしたちのビジョン】

「ともに聴き 分かち合い 伝えていこう、イエスさまの福音を」
～日本聖公会神戸教区宣教150周年まであと2年～
場所 日本聖公会神戸教区神戸聖ミカエル大聖堂

ZOOM
ミーティング ID
972 4026 9052
パスコード：500806



開催日時	講演者	趣 旨
10月19日(土) 13:30～	セシリア 大岡左代子 司祭 (京都教区・管区女性デスク)	あらゆる信仰者が共に生かされ、宣教する教会を提言

11月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2024年11月14日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 司祭 八代 智
説教 司祭 瀬山 会治

どなたでもいらしてください
*11月の記念逝去教役者

- 1日 司 祭 レイモンド クリストファー
- 3日 司 祭 パウロ 山本 早太
- 4日 司 祭 山辺 久吉
- 8日 宣教師 ヴァイオレット ハイ ド
- 9日 司 祭 アンデレ 児玉 正世
- 13日 司 祭 モーセ 木俣 茂一
- 15日 司 祭 ヨハネ 佐藤 眞一
- 17日 伝道師 ルデヤ 内田 歌子
- 17日 司 祭 ウイリアム ハンコック
- 18日 伝道師 チッポラ 末吉 信子
- 19日 司 祭 ヨハネ 側垣 正己
- 20日 司 祭 パウロ 秋田 哲三
- 22日 伝道師 塩原 以満
- 28日 宣教師 ジャネット マッキ
- 30日 宣教師 エイミ ボサンケット

*逝去年月日不明の方々もお祈りします。

～オンライン～

西日本宣教協働区

祈りの
つどい

共にいのる・出会い・交わり

zoomでアクセス
ミーティング ID (新しく変わりました)

468 123 1279
パスコード：762780

神のおとずれ 9月号では旧ID・QRコード
が掲載されておりました。大変申し訳ござい
ませんでした。

第20回 11月14日(木) 19:00～
(担当) 神戸教区